



# Pure 純 No.212 Pacific パ Dec.2020

純パの会会報「純パ」第212号

2020年12月12日発行／発行：純パの会

## 前夜にホークス日本一を「予言」する 山下 威

今日は11月20日(金曜日)。

日本シリーズはまだ始まっていませんし、当然結果も出ていません。しかし、どう考えてみても、今年も福岡ソフトバンクホークスが日本シリーズを制覇すると予言します。

まず、投手陣から見て、読売ジャイアンツは、菅野が7戦中4戦を完投勝利しないとシリーズを制することができません。つまり菅野に西鉄ライオンズの大エース・稲尾和久ばりの鉄腕ぶりを発揮してもらわないといけません。これだけでも、不可能と言わざるを得ません。

かたや、我がホークスの投手陣は、先発ローテーションの一角でもある東浜の離脱は痛いですが、千賀・石川のタイトルホルダー2人に、和田、ムーアなどを有する先発陣。岩崎、高橋礼などのセットアップに失点しないワンポイントの嘉弥真。そして8回・9回にはモイネロ・森が立ちほだかります。特に中継ぎ以降の防御率が1点台というのは驚異的でさえあります。

ジャイアンツの打撃陣で注意すべきは、坂本と岡本だけです。丸は、昨年のシリーズでは内角攻めに合い撃沈しています。今年は全試合DH制となったために、投手は打席には立ちませんので、ますます内角を執拗に攻め立てることでしょう。

それに引き換え、我がホークスの攻撃陣は、まず、

周東が塁上をかき回すでしょう。ジャイアンツの投手陣は塁に出していけないとばかりに腕が縮みあがり、フォアボールの連発でしょう。そして塁を埋めたところで、規格外の柳田が規格外のホームランを放つことでしょう！ こうすれば柳田を抑えられるというセオリーは、残念ながらありません。

守備では、我がホークスには「甲斐キャノン」があります。2年前のカープとのシリーズを再現するのでしょうか？とも思ったのですが、ジャイアンツに走れる選手がいる気配がないので、「甲斐キャノン」の使いようがありません。

最後に、我がホークスは、パ・リーグのレギュラーシーズン、そしてクライマックスシリーズを通して、マリーンズという素晴らしいライバルを得て、鍛えて頂き、逞しくなりました。

一方、セ・リーグで優勝したジャイアンツはシーズンを通して、ほぼ独り旅だったようです

このように、どれをとってもホークスが勝てる要素ばかりです。

だから、ホークスの日本シリーズ優勝を見届けるまでもなく、筆を取って書いてしまいました。

……そして、この予言は、見事に当たりました！

次ページ以降、会員によるホークス日本一の喜びの声をお届けします。